

2025年度 千住学部時間割

科目名称	教職概論（小・中・高）（中・高）
授業コード	BN207
英語名称	Introduction to the Teaching Profession
学期	2025年度前期
単位	2.0
担当教員	吉村 日出東
記入不要 ナンバリングコード	
授業の概要	本授業は、学制導入以来体系化された教育の中で、公的地位を受けた教員の歴史的展開を通して教職とはいかなるものであるのか講義する。特に近代職業として成立した教員は、社会の変化と密接にかかわることとなり、学校における教育内容の変化や社会体制の変質等とともに、教員に対する社会からの要望も変化してきた。こうしたことを踏まえ、教師教育(養成、再教育)の課題と今日の教師の資質能力とは何か考えていく。
科目に関連する実務経験と授業への活用	中学校教員としての経験を踏まえて、担当者の持つ学校教育現場の経験的な内容についても講義する。
到達目標	本授業は、教職が近代職業として成立したことを出発点とし、 時代とともに教員に対する社会の要望が変化していることを理解できる。 現代社会において、教師に求められる資質とは何かを自ら考えられるようになる。 教員の社会的地位についての課題や教師の役割について解決を目指すようになる。 中等教員に求められる資質とは何か考えられるようになる。 (科目特有の知識・技術についての到達目標) また、 教職と教師についての学修を通して、社会における職業人としての教師について、行動できるようになる。 (汎用能力としての学士力についての到達目標)
計画・内容	第1回 教師とは 第2回 教育法規上の教員の位置づけ（特に、中学校および高校について） 第3回 近代学校制度について 第4回 近代教師の誕生 職業としての教師 第5回 近代教師の誕生 教師像の変遷 第6回 学校における女教師について 第7回 教師の生活 第8回 アメリカ教育使節団報告に見る教員養成 第9回 ユネスコと国際的な教師像 第10回 現在の学校と教師の活動 学級経営（特に、中学校および高校について） 第11回 現在の学校と教師の活動 職務分掌（特に、中学校および高校について）

2025年度 千住学部時間割

計画・内容	第12回 教師に必要な資質とは何か 地域連携（特に、中学校および高校について） 第13回 教師に必要な資質とは何か 生徒の人生に関わること 第14回 現代社会の教育事件から教師は何ができるのか考えよう 第15回 全体のまとめ
授業の進め方	講義中心に授業を進めていくが、適宜質疑応答を加え、学生が積極的に授業に参加できるように進めていく。
能動的な学びの実施	質疑応答等、積極的な授業態度を求めます。
授業時間外の学修	予習は求めませんが、現代社会に関するニュース等に関心を持って理解するよう心がけてください。復習としては、教科書に使用する『学習指導要領』は、何度も繰り返し読んで、内容理解に努めてください。 予習：参考図書等のもくじに目を通す 復習：講義レジュメの整理・理解 （合計60時間程度）
教科書・参考書	教科書： 『中学校学習指導要領』、『高等学校学習指導要領』 なお、補助教材としてプリントを配布します。 参考書： 村井実『アメリカ教育使節団報告書』講談社学術文庫、『文部省百年史』、『文部省百二十年史』
成績評価方法と基準	定期試験と授業において課すリアクションペーパー、レポートで評価する。概ね、試験8：レポート2
課題等に対するフィードバック	課題等については、可能な限り解説を行う。
オフィスアワー	CampusSquareを参照
留意事項	
非対面授業となった場合の「授業の進め方」および「成績評価方法と基準」	非対面授業なった場合は次の通りとします。 「授業の進め方」 授業回で取り上げる「計画・内容」は、上記の対面と同様のものを基本として行います。但し、非対面のため、掲示に授業の課題と講義を提示しますので、それに対して、レポートをレポート欄に提出してもらいます。この場合、そのレポートの進捗状況に応じて、「計画・内容」の一部変更、分野ごとの増減など、を行うことがあります。 成績評価基準 成績は、非対面の中で提出してもらったレポートと最後に課す「試験に替わるレポート」を総合して評価します。 評価の割合は、 毎回のレポートを70%、試験に替わるレポートを30%

2025年度 千住学部時間割

科目名称	保健体育科教育法
授業コード	BN202
英語名称	
学期	2025年度前期
単位	2.0
担当教員	長見 真
記入不要 ナンバリングコード	
授業の概要	中学校・高等学校保健体育科（体育）の学習指導についての基本的な考え方とその実際を理解し、模擬授業をおこないながらその認識を深める。本講義は、中学校・高等学校保健体育科教員としての実務経験を有する教員が担当している。
科目に関連する実務経験と授業への活用	本講義は、中学校・高等学校保健体育科教員として実務経験を有する教員が担当し、理論のみならず実践の知についても模擬授業などをとおして学修する。
到達目標	1．ディプロマ・ポリシーに掲げる教職に求められる専門的知識を習得するために、中学校・高等学校保健体育科（体育）の学習指導についての基本的な考え方を理解する。 2．カリキュラム・ポリシーに掲げる各教科（保健体育）の指導に必要な諸手法等について学ぶべく、体育の授業について関心を持ち、具体的な授業づくりを探究する力を身につける。
計画・内容	授業計画 1）体育の授業とは何か 予習：自身が受けてきた体育の授業についてまとめる（120分） 復習：ポートフォリオ作成（120分） 2）体育のカリキュラムについて 予習：自身が受けてきた体育のカリキュラムについてまとめる（120分） 復習：ポートフォリオ作成（120分） 3）体育の目標について 予習：現代社会における体育・スポーツの状況について調べる（120分） 復習：ポートフォリオ作成（120分） 4）体育学習の方法 - 単元について 予習：体育単元計画を作成する（120分） 復習：ポートフォリオ作成（120分） 5）体育学習の方法 - 学習のねらいについて 予習：体育学習のねらいの変遷について調べる（120分） 復習：ポートフォリオ作成（120分） 6）体育学習の方法 - 学習過程について 予習：体育学習の学習過程について調べる（120分） 復習：ポートフォリオ作成（120分） 7）体育学習の方法 - 単元計画の立案 予習：これまでの講義を踏まえたうえで単元計画を作成する（120分） 復習：ポートフォリオ作成（120分） 8）スポーツ領域の学習指導の方法（模擬授業の実施含む） 予習：スポーツ領域の単元計画を作成する（120分） 復習：ポートフォリオ作成（120分） 9）ダンス領域の学習指導の方法（模擬授業の実施含む）

2025年度 千住学部時間割

計画・内容	予習：ダンス領域の単元計画を作成する（120分） 復習：ポートフォリオ作成（120分） 10）体づくり運動領域の学習指導の方法（模擬授業の実施含む） 予習：体づくり領域の単元計画を作成する（120分） 復習：ポートフォリオ作成（120分） 11）体育理論の学習指導の方法（模擬授業の実施含む） 予習：体育理論の単元計画を作成する（120分） 復習：ポートフォリオ作成（120分） 12）選択制授業の学習指導について 予習：選択制授業の意義について調べる（120分） 復習：ポートフォリオ作成（120分） 13）体育学習の評価について 予習：評価・評定について調べる（120分） 復習：ポートフォリオ作成（120分） 14）体育の考え方・目標の変遷 予習：日本の体育科教育の理念の変遷について調べる（120分） 復習：ポートフォリオ作成（120分） 15）生涯スポーツを志向する体育学習とは何か 予習：現代社会におけるスポーツの状況について調べる（120分） 復習：ポートフォリオ作成（120分）
授業の進め方	予習課題を宿題とし、授業の始めに課題の発表をおこない、その内容について議論をしていきながら、講義を進めていく。授業後は授業の内容についてまとめるポートフォリオを復習課題として作成する。
能動的な学びの実施	授業ごとのポートフォリオ作成、グループディスカッション、ディベート、模擬授業等をおこなう。
授業時間外の学修	必要な予習・復習については、「計画・内容」の項目を参照のこと。
教科書・参考書	< 参考書 > ・中学校学習指導要領保健体育編 ・高等学校学習指導要領保健体育編 ・中学校・高校の体育授業づくり入門（学文社） その他講義中、必要に応じて適宜紹介する。
成績評価方法と基準	ポートフォリオ（60％）、模擬授業のできばえ（20％）、ディスカッションにおける発言回数（20％）を総合して評定する。
課題等に対するフィードバック	レポート（ポートフォリオ）はコメントを付与して返却する。
オフィスアワー	キャンパススクエアを参照
留意事項	本講義は実務経験のある教員による実践的な科目である。
非対面授業となった場合の「授業の進め方」および「成績評価方法と基準」	ZOOMによるオンライン授業を行う。 上記「成績評価方法と基準」と同様。

2025年度 千住学部時間割

科目名称	保健体育科教育法 (1組)
授業コード	BN254
英語名称	
学期	2025年度後期
単位	2.0
担当教員	長見 真, 松井 高光
記入不要 ナンバリングコード	
授業の概要	中学校、高等学校保健体育科（保健）における各領域・単元の学習指導についての基本的な考え方とその実践を理解し、模擬授業を行いながらその認識を深める。本講義は、中学校・高等学校保健体育科教員としての実務経験を有する教員が担当している。
科目に関連する実務経験と授業への活用	本講義は、中学校・高等学校保健体育科教員として実務経験を有する教員が担当し、理論のみならず実践の知についても模擬授業などをとおして学修する。
到達目標	1. ディプロマ・ポリシーに掲げる教職に求められる専門的知識を習得するために、中学校・高等学校保健体育科（保健）の学習指導についての基本的な考え方を理解する。 2. カリキュラム・ポリシーに掲げる各教科（保健体育）の指導に必要な諸手法等を学ぶべく、保健の授業について関心を持ち、具体的な授業づくりを探究する力を身につける。
計画・内容	1) 保健の授業とは何か（長見、松井） 予習：自身が受けてきた保健の授業についてまとめる（120分） 復習：ポートフォリオ作成（120分） 2) 保健のカリキュラムについて（長見、松井） 予習：自身が受けてきた保健のカリキュラムについてまとめる（120分） 復習：ポートフォリオ作成（120分） 3) 保健の目標について（長見、松井） 予習：保健の目標について調べる（120分） 復習：ポートフォリオ作成（120分） 4) 保健学習の方法について（長見、松井） 予習：保健学習の方法について調べる（120分） 復習：ポートフォリオ作成（120分） 5) 「健康な生活」の学習指導について（模擬授業の実施含む）（長見、松井） 予習：「健康な生活」の学習内容について調べる（120分） 復習：ポートフォリオ作成（120分） 6) 「疾病の予防」の学習指導について（模擬授業の実施含む）（長見、松井） 予習：「疾病の予防」の学習内容について調べる（120分） 復習：ポートフォリオ作成（120分） 7) 「心身の機能の発達」の学習指導について（模擬授業の実施含む）（長見、松井） 予習：「心身の機能の発達」の学習内容について調べる（120分） 復習：ポートフォリオ作成（120分） 8) 「心の健康」の学習指導について（模擬授業の実施含む）（長見、松井） 予習：「心の健康」の学習内容について調べる（120分） 復習：ポートフォリオ作成（120分） 9) 「傷害の防止」の学習指導について（模擬授業の実施含む）（長見、松井） 予習：「傷害の防止」の学習内容について調べる（120分） 復習：ポートフォリオ作成（120分） 10) 「健康と環境」の学習指導について（模擬授業の実施含む）（長見、松井） 予習：「健康と環境」の学習内容について調べる（120分）

2025年度 千住学部時間割

計画・内容	復習：ポートフォリオ作成（120分） 11）「現代社会と健康」の学習指導について（模擬授業の実施含む）（長見、松井） 予習：「現代社会と健康」の学習内容について調べる（120分） 復習：ポートフォリオ作成（120分） 12）「生涯を通じる健康」の学習指導について（模擬授業の実施含む）（長見、松井） 予習：「生涯を通じる健康」の学習内容について調べる（120分） 復習：ポートフォリオ作成（120分） 13）「社会生活と健康」の学習指導（模擬授業の実施含む）（長見、松井） 予習：「社会生活と健康」の学習内容について調べる（120分） 復習：ポートフォリオ作成（120分） 14）保健学習の評価について（長見、松井） 予習：保健学習の評価・評定について調べる（120分） 復習：ポートフォリオ作成（120分） 15）保健学習と学習指導要領（長見、松井） 予習：学習指導要領について調べる（120分） 復習：ポートフォリオ作成（120分）
授業の進め方	予習課題を宿題とし、授業の始めに課題の発表をおこない、その内容について議論していきながら講義を進めていく。授業後は授業の内容についてまとめるポートフォリオを復習課題として作成する。
能動的な学びの実施	授業ごとのポートフォリオ作成、模擬授業の実施およびその後のディスカッションなどをおこなう。
授業時間外の学修	必要な予習・復習については、「計画・内容」の項目を参照のこと。
教科書・参考書	<教科書> ・中学校保健体育（大日本図書） ・現代高等保健体育（大修館書店） <参考書> ・中学校学習指導要領解説保健体育編 ・高等学校学習指導要領解説保健体育編 ・保健の授業づくり入門（大修館書店） ・「授業書方式」による保健の授業（大修館書店）
成績評価方法と基準	ポートフォリオ（60％）、模擬授業のできばえ（20％）、ディスカッションにおける発言回数（20％）を総合して評定する。
課題等に対するフィードバック	レポート（ポートフォリオ）はコメントを付与して返却する。
オフィスアワー	キャンパススクエアを参照。
留意事項	本講義は実務経験のある教員による実践的な科目である。
非対面授業となった場合の「授業の進め方」および「成績評価方法と基準」	ZOOMによるオンライン授業を行う。模擬授業の代わりに学習指導案検討会を行う。 上記「成績評価方法と基準」と同様。

2025年度 千住学部時間割

科目名称	保健体育科教育法 (1組)
授業コード	BN320
英語名称	
学期	2025年度前期
単位	2.0
担当教員	長見 真, 松井 高光
記入不要 ナンバリングコード	
授業の概要	中学校体育授業を実際に教師の立場で行ってみること(模擬授業)を通して、体育の授業づくりについての基本的な考え方・進め方を学修する。本講義は、中学校・高等学校保健体育科教員としての実務経験を有する教員が担当している。
科目に関連する実務経験と授業への活用	本講義は、中学校・高等学校保健体育科教員として実務経験を有する教員が担当し、理論のみならず実践の知についても模擬授業などをとおして学修する。
到達目標	1. ディプロマ・ポリシーに掲げる教職に求められる専門的知識を習得するために、模擬授業を通して、中学校体育授業における実践的指導力の基礎・基本を身につける。 2. カリキュラム・ポリシーに掲げる各教科(保健体育)の指導に必要な諸手法等を学ぶべく、体育の授業について関心を持ち、具体的な授業づくりを探究する力を身につける。
計画・内容	1) 体育の授業づくりにおける基本的な考え方の整理(長見、松井) 予習: 既習科目「保健体育科教育法」の講義内容の確認(120分) 復習: ポートフォリオの作成(120分) 2) 単元計画・学習指導案作成の基本的な考え方(長見、松井) 予習: 単元計画・学習指導案について調べる(120分) 復習: ポートフォリオの作成(120分) 3) 単元計画・学習指導案の作成(長見、松井) 予習: 単元計画・学習指導案を作成する(120分) 復習: ポートフォリオの作成および単元計画・学習指導案の作成(120分) 4) 模擬授業A 球技の模擬授業 「ねらい1」の授業(長見、松井) 予習: 模擬授業の準備(120分) 復習: ポートフォリオの作成(120分) 5) 模擬授業A 球技の模擬授業 「ねらい2(1時間目)」の授業(長見、松井) 予習: 模擬授業の準備(120分) 復習: ポートフォリオの作成(120分) 6) 模擬授業A 球技の模擬授業 「ねらい2(2時間目)」の授業(長見、松井) 予習: 模擬授業の準備(120分) 復習: ポートフォリオの作成(120分) 7) 模擬授業A 球技の模擬授業 「ねらい3」の授業(長見、松井) 予習: 模擬授業の準備(120分) 復習: ポートフォリオの作成(120分) 8) 模擬授業B 器械運動の模擬授業 「ねらい1」の授業(長見、松井) 予習: 模擬授業の準備(120分) 復習: ポートフォリオの作成(120分) 9) 模擬授業B 器械運動の模擬授業 「ねらい2(1時間目)」の授業(長見、松井) 予習: 模擬授業の準備(120分) 復習: ポートフォリオの作成(120分) 10) 模擬授業B 器械運動の模擬授業 「ねらい2(2時間目)」の授業(長見、松井) 予習: 模擬授業の準備(120分)

2025年度 千住学部時間割

計画・内容	復習：ポートフォリオの作成（120分） 1 1）模擬授業B 器械運動の模擬授業 「ねらい2（3時間目）」の授業（長見、松井） 予習：模擬授業の準備（120分） 復習：ポートフォリオの作成（120分） 1 2）模擬授業C 柔道の模擬授業 「ねらい1（1時間目）」の授業（長見、松井） 予習：模擬授業の準備（120分） 復習：ポートフォリオの作成（120分） 1 3）模擬授業C 柔道の模擬授業 「ねらい1（2時間目）」の授業（長見、松井） 予習：模擬授業の準備（120分） 復習：ポートフォリオの作成（120分） 1 4）模擬授業C 柔道の模擬授業 「ねらい2（1時間目）」の授業（長見、松井） 予習：模擬授業の準備（120分） 復習：ポートフォリオの作成（120分） 1 5）模擬授業C 柔道の模擬授業 「ねらい2（2時間目）」の授業（長見、松井） 予習：模擬授業の準備（120分） 復習：ポートフォリオの作成（120分）
授業の進め方	主として模擬授業に向けての準備を予習課題とし、模擬授業を実施する。模擬授業終了後は、授業についての検討会を行う。授業後は授業の内容についてまとめるポートフォリオを復習課題として作成する。
能動的な学びの実施	授業ごとのポートフォリオ作成、模擬授業の実施およびその後のディスカッションなどをおこなう。
授業時間外の学修	必要な予習・復習については、「計画・内容」の項目を参照のこと。
教科書・参考書	<参考書> ・中学校学習指導要領保健体育編 ・高等学校学習指導要領保健体育編 ・中学校・高校の体育授業づくり入門（学文社） その他講義中、必要に応じて適宜紹介する。
成績評価方法と基準	ポートフォリオ（60%）、模擬授業のできばえ（20%）、ディスカッションにおける発言回数（20%）を総合して評定する。
課題等に対するフィードバック	レポート（ポートフォリオ）はコメントを付与して返却する。
オフィスアワー	キャンパススクエアを参照。
留意事項	本科目は、中学・高校両方の保健体育科教員免許取得に必要な科目である。 本講義は、実務経験のある教員による実践的な科目である。
非対面授業となった場合の「授業の進め方」および「成績評価方法と基準」	ZOOMによるオンライン授業を行う。模擬授業の代わりに学習指導案検討会を行う。 上記「成績評価方法と基準」と同様。

2025年度 千住学部時間割

科目名称	保健体育科教育法 （1組）
授業コード	BN358
英語名称	
学期	2025年度後期
単位	2.0
担当教員	長見 真, 松井 高光
記入不要 ナンバリングコード	
授業の概要	中学校保健授業を実際に教師の立場で行ってみること（模擬授業）を通して、保健の授業づくりについての基本的な考え方・進め方を学修する。本講義は、中学校・高等学校保健体育科教員として実務経験を有する教員が担当している。
科目に関連する実務経験と授業への活用	本講義は、中学校・高等学校保健体育科教員として実務経験を有する教員が担当し、理論のみならず実践の知についても模擬授業などをとおして学修する。
到達目標	1．ディプロマ・ポリシーに掲げる教職に求められる専門的知識を習得するために、模擬授業を通して、中学校保健授業における実践的指導力の基礎・基本を身につける。 2．カリキュラム・ポリシーに掲げる各教科（保健体育）の指導に必要な諸手法等を学ぶために、保健の授業について関心を持ち、具体的な授業づくりを探究する力を身につける。
計画・内容	1）保健の授業づくりにおける基本的な考え方の整理 予習：既習科目「保健体育科教育法」の講義内容を確認する（120分） 復習：ポートフォリオ作成（120分） 2）単元計画・学習指導案作成の基本的な考え方 予習：単元計画・学習指導案について調べる（120分） 復習：ポートフォリオ作成（120分） 3）単元計画・学習指導案の作成 予習：単元計画・学習指導案を作成する（120分） 復習：ポートフォリオ作成および単元計画・学習指導案の作成（120分） 4）模擬授業「健康な生活と疾病の予防」- 健康の成り立ち 予習：模擬授業の準備をする（120分） 復習：ポートフォリオ作成（120分） 5）模擬授業「健康な生活と疾病の予防」- 運動、食事、休養について 予習：模擬授業の準備をする（120分） 復習：ポートフォリオ作成（120分） 6）模擬授業「健康な生活と疾病の予防」- 生活習慣病の要因と予防 予習：模擬授業の準備をする（120分） 復習：ポートフォリオ作成（120分） 7）模擬授業「健康な生活と疾病の予防」- 喫煙、飲酒、薬物乱用について 予習：模擬授業の準備をする（120分） 復習：ポートフォリオ作成（120分） 8）模擬授業「健康な生活と疾病の予防」- 感染症の原因と予防 予習：模擬授業の準備をする（120分） 復習：ポートフォリオ作成（120分） 9）模擬授業「心身の機能の発達と心の健康」- 体の発育・発達 予習：模擬授業の準備をする（120分） 復習：ポートフォリオ作成（120分） 10）模擬授業「心身の機能の発達と心の健康」- 思春期の心の変化

2025年度 千住学部時間割

計画・内容	予習：模擬授業の準備をする（120分） 復習：ポートフォリオ作成（120分） 1 1）模擬授業「心身の機能の発達と心の健康」- ストレスへの対処 予習：模擬授業の準備をする（120分） 復習：ポートフォリオ作成（120分） 1 2）模擬授業「傷害の防止」- 傷害の発生要因と防止 予習：模擬授業の準備をする（120分） 復習：ポートフォリオ作成（120分） 1 3）模擬授業「傷害の防止」- 応急手当 予習：模擬授業の準備をする（120分） 復習：ポートフォリオ作成（120分） 1 4）模擬授業「健康と環境」- 環境への適応能力 予習：模擬授業の準備をする（120分） 復習：ポートフォリオ作成（120分） 1 5）模擬授業「健康と環境」- 廃棄物の処理 予習：模擬授業の準備をする（120分） 復習：ポートフォリオ作成（120分）
授業の進め方	主として模擬授業に向けての準備を予習課題とし、模擬授業を実施する。模擬授業終了後は、検討会を行う。授業後は、授業の内容についてまとめるレポート（ポートフォリオ）を復習課題として作成する。
能動的な学びの実施	授業ごとのポートフォリオ作成、模擬授業の実施およびその後のディスカッションなどをおこなう。
授業時間外の学修	必要な予習・復習については、「計画・内容」の項目を参照のこと。
教科書・参考書	<教科書> ・中学校保健体育（大日本図書） ・現代高等保健体育（大修館書店） <参考書> ・中学校学習指導要領保健体育編 ・高等学校学習指導要領保健体育編 ・保健の授業づくり入門（大修館書店） ・「授業書方式」による保健の授業（大修館書店） その他講義中、必要に応じて適宜紹介する。
成績評価方法と基準	ポートフォリオ（60％）、模擬授業のできばえ（20％）、ディスカッションにおける発言回数（20％）を総合して評定する。
課題等に対するフィードバック	レポート（ポートフォリオ）はコメントを付与して返却する。
オフィスアワー	キャンパススクエアを参照。
留意事項	本科目は、中学・高校両方の保健体育科教員免許取得に必要な科目である。 本講義は実務経験のある教員による実践的な科目である。
非対面授業となった場合の「授業の進め方」および「成績評価方法と基準」	ZOOMによるオンライン授業を行う。模擬授業の代わりに学習指導案検討会をおこなう。 上記「成績評価方法と基準」と同様。

2025年度 千住学部時間割

科目名称	武道（1組）
授業コード	BN259
英語名称	
学期	2025年度後期
単位	1.0
担当教員	松井 高光
記入不要 ナンバリングコード	
授業の概要	中学校保健体育保健分野および高等学校保健体育科目保健の目標と学習内容，全体構造を理解しながら，生徒の思考力・判断力を促すような楽しい授業づくりを目指した授業設計と模擬授業の実践・省察を実施する。その際，様々な授業方法や情報機器・教材の効果的な活用法を意識して模擬授業に盛り込む。
科目に関連する実務経験と授業への活用	全日本柔道連盟公認指導者Aライセンス 中学校・高等学校 保健体育専修免許状 日本オリンピック委員会 強化スタッフ（柔道） 全日本柔道連盟指導者養成委員会 特別委員
到達目標	カリキュラムポリシーの「教科指導に必要な教育内容に関する理解力を養成すること」を目指して具体的に次の目標を設定する。 中学校保健体育保健分野・高等学校保健体育科目保健の目標と主な学習内容等を理解する。柔道技術の特性を理解するとともに、柔道が体系化された歴史的背景そしてオリンピック種目としての柔道の魅力や価値についても考える。また、学習指導要領を基に指導法についても考えていく。さらに、柔道における事故がクローズアップされ武道必修化における柔道の危険性が指摘されているので十分な安全管理を理解する。本来、柔道は自ら身を守り互いに協調、協力そして相手を敬いながら技術を磨いていくものである。本授業では、安全面に特化し受け身の理論そしてそれを指導できる指導法をしっかりと身につける。
計画・内容	第1回 柔道について，柔道の礼法，基本姿勢，基本動作，バランス崩しゲーム 第2回 柔道衣の着方，受身（後受身，横受身），柔道場でできる体づくりの動きやゲーム 第3回 ゲーム要素を取り入れた受け身や固技 第4回 受身の習得（前回り受身），投技について（導入編） 第5回 投技技能の習得（出足払，膝車），固技技能の習得（袈裟固） 第6回 投技技能の習得（支釣込足，大内刈），固技技能の習得（横四方固） 第7回 投技技能の習得（小内刈，大外刈），固技技能の習得（上四方固） 第8回 投技技能の習得（体落，大腰），固技技能の習得（縦四方固） 第9回 投技技能の習得（釣込腰，背負投），固技技能の習得（肩固） 第10回 投技技能の習得（払腰，内股），固技技能の習得（抑え込むための方法） 第11回 投技技能の習得（連絡技），固技技能の習得（逃げ方） 第12回 投技技能の習得（変化技），固技技能の習得（抑込技の連絡変化） 第13回 投技からの固技への連絡変化 第14回 遊び要素を取り入れた指導方法（じゃんけん受身，じゃんけん柔道など） 第15回 これまでのまとめと技能到達度チェック
授業の進め方	授業は実技を中心に行うが、授業後は振り返りシートを用いて実施する。
能動的な学びの実施	自ら技能に関する探索を行い、次回授業に活かすようにする。

2025年度 千住学部時間割

授業時間外の学修	授業の事前に柔道技術のメカニズムに関して学習する（60分）。さらに授業後は本時の振り返りを行う（30分）。
教科書・参考書	文部科学省 中学校・高等学校学習指導要領解説 保健体育 木村昌彦著 いちばんわかりやすい柔道の教科書 土屋書店 2012
成績評価方法と基準	授業の実施・省察の状況（60％），技能レベル（20％），事後レポート（20％）を評価する。
課題等に対するフィードバック	毎回の課題と問題点に関しては次回授業時に説明を行う。
オフィスアワー	CampusSquareを参照
留意事項	柔道衣は必ず持参する事。授業前に中学校および高等学校学習指導要領を熟読し、中学校および高等学校における武道教育の意義について理解をしておくこと。
非対面授業となった場合の「授業の進め方」および「成績評価方法と基準」	zoomによるオンライン授業と課題学修を組み合わせで実施する。 授業毎の課題レポート（40％）と期末レポート（60％）で総合的に評価する。

2025年度 千住学部時間割

科目名称	特別活動及び総合的な学習の時間の指導法（中・高）
授業コード	BN408
英語名称	
学期	2025年度前期
単位	2.0
担当教員	神谷 純子
記入不要 ナンバリ ングコード	
授業の概要	特別活動は、学校教育における教育課程の一領域を構成する。子ども個々が実際の活動体験や生活経験を通して、「なすことによって学ぶ」ことを指導の基本理念としている。それゆえ、望ましい集団活動の実際を演習的に体験し、人間関係形成能力や自主性及び実践的な態度形成の力量を育み、学生自らが学べるような授業を構成することを目的とする。この考えを基本に、学校教育において子どもが身に付けたい自発的・自治的な力、社会の一員としての自覚と態度、自己指導能力などについての研究を深める。あわせて、学生自身の社会人基礎力や自己実現能力を養う。
科目に関連する実務経験と授業への活用	学校教員としての実務経験を踏まえて講義内容及び方法に工夫を凝らし、教育現場に根差した知識技術の修得を図る。
到達目標	（１）特別活動の意義や目標の理解、特別活動の4つの内容の理解、実践事例等の分析と考察、学習指導案の作成（とくに学級活動）とその活用、などの理解を目標とする。 （２）教職にあって不可欠な子どもとのかかわりや学級をまとめる力量などを幅広く具体的に学ぶことを目標とする。 学科のカリキュラム・ポリシーとの関係では、「教職基礎科目」に分類され、教育的指導者に要求される子どもの発達や教育に関する基礎的理解力を養成する科目に相当する。また、学科のディプロマ・ポリシーとの関係では、教育の実践的な活動を支え、それに不可欠な教育学・教科内容学・教科教育学などの専門的知識や技能を修得することを目指す科目に相当する。
計画・内容	第1回：特別活動の目標と内容 予習：参考図書等の関連する章を読む（時間 120分） 復習：講義レジュメの整理・理解（時間 120分） 第2回：学習指導要領における「学級活動の内容(1)」について（評価・改善活動を含む） 予習：参考図書等の関連する章を読む（時間 120分） 復習：講義レジュメの整理・理解（時間 120分） 第3回：学習指導要領における「学級活動の内容(2)(3)」について 予習：参考図書等の関連する章を読む（時間 120分） 復習：講義レジュメの整理・理解（時間 120分） 第4回：学校・学級における集団活動のポイント（内容，方法） 予習：参考図書等の関連する章を読む（時間 120分） 復習：講義レジュメの整理・理解（時間 120分） 第5回：学級集団育成の技術 予習：参考図書等の関連する章を読む（時間 120分） 復習：講義レジュメの整理・理解（時間 120分） 第6回：特別活動における特別支援教育 予習：参考図書等の関連する章を読む（時間 120分） 復習：講義レジュメの整理・理解（時間 120分） 第7回：学校における実践事例 予習：参考図書等の関連する章を読む（時間 120分） 復習：講義レジュメの整理・理解（時間 120分）

2025年度 千住学部時間割

計画・内容	第8回：特別活動の内容構成の理解 予習：参考図書等の関連する章を読む（時間 120分） 復習：講義レジュメの整理・理解（時間 120分） 第9回：単元計画の基本的な考え方及び学習状況の評価 予習：参考図書等の関連する章を読む（時間 120分） 復習：講義レジュメの整理・理解（時間 120分） 第11回：各内容の理解（クラブ活動） 予習：参考図書等の関連する章を読む（時間 120分） 復習：講義レジュメの整理・理解（時間 120分） 第12回：各内容の理解（学校行事） 予習：参考図書等の関連する章を読む（時間 120分） 復習：講義レジュメの整理・理解（時間 120分） 第13回：実践事例 予習：参考図書等の関連する章を読む（時間 120分） 復習：講義レジュメの整理・理解（時間 120分） 第14回：特別活動と教育課程の編成・他の教育内容との関連 予習：参考図書等の関連する章を読む（時間 120分） 復習：講義レジュメの整理・理解（時間 120分） 第15回：指導計画の基本的な考え方・作成 予習：参考図書等の関連する章を読む（時間 120分） 復習：講義レジュメの整理・理解（時間 120分）
授業の進め方	基本的に講義形式だが、随時演習等を行う。
能動的な学びの実施	随時演習等を行う。
授業時間外の学修	予習：参考図書等の目次に目を通す（時間 120分） 復習：講義レジュメの整理・理解（時間 120分）
教科書・参考書	主要参考文献： 文部科学省『中学校学習指導要領』 文部科学省『中学校学習指導要領解説 特別活動編』 文部科学省『高等学校学習指導要領』 文部科学省『高等学校学習指導要領解説 特別活動編』 その他、適宜授業で紹介する。
成績評価方法と基準	（１）各々の担当者が以下の基準で素点を算出する。 授業内で課す小課題（60％）、最終課題（試験）（40％）の結果を総合的に判断する。 （２）各々の素点を授業担当回数の割合で比重付けして合算する。
課題等に対するフィードバック	リアクションペーパーや小課題については、随時フィードバックを行う。
オフィスアワー	Campus Square を参照
留意事項	本科目は、教員免許状取得のための【必修科目】にあたる。
非対面授業となった場合の「授業の進め方」および「成績評価方法と基準」	非対面・オンライン（オンデマンド課題）学修 15回に切り替える。 Campus Squareの掲示板またはレポート提出欄に課題・動画URLを提示し、レポート提出欄から課題を提出する形式をとる。 平時（対面授業時）に準ずる。